

「地域で育む！子どもたちの安全と安心」

—大久保地区協議会 安全・安心分科会—

大久保地区協議会安全・安心分科会は、地域見守り及び啓発活動と防犯パトロールの二つを柱として年間を通した活動を行っています。今回は年間活動についての一部紹介と、今年度、新たに実施した安全・安心講演会についてご紹介します。

年間活動の様子

主な年間活動として、定例会やイベントでのブース出展や啓発グッズの作成を実施しています。また、年金支給月には振込詐欺被害防止キャンペーンとして警察と合同で啓発グッズを配布しています。さらに、地区内小学校の下校パトロールである「大久保地区安全・安心一斉パトロール」を実施している大久保地域見守り隊の中核としても活動しています。年末には各小学校区に分かれて夜間パトロールも実施しています。



安全・安心講演会の様子（令和4年10月26日）

町会や育成会・PTA・学校等を対象に地域防犯力の強化と地域見守り活動のバックボーンの深化を目的として、安全インストラクターの武田信彦さんを講師にお招きし、安全・安心講演会を実施しました。警察ではない一般人が街中で見守りや声掛けを行う「市民防犯」の大切さや、地域で子どもを見守ることで子ども達だけで活動する「空白地帯」を作らないことの大切さを語っていただきました。



コロナ対策

屋外での活動では、啓発グッズ配布時は手指消毒やビニール手袋を着用するなどして感染症防止に努めました。また、講演会や会議等の室内での活動では、マスク着用のもと入り口の検温・手指消毒を実施し、座席間隔の調整や室内換気等に注意を払って実施しました。

主催者より



大久保地区協議会
竹内 和正
会長

現在、「安全・安心分科会」と「まちの将来像分科会」の二つの分科会で活動している当協議会は、人との接触の中で地域の情報を共有し、ネットワークを構築することを役割としています。コロナ対策として密閉・密集・密接の三つを避けよとの三年間は、困難なものでした。この中での上記活動は、コロナ後へ繋げる歩みです。



安全・安心分科会
大和 涼子
会長

コロナ禍において、私たちの数々の活動に制限がありましたが、児童・生徒をねらった脅迫メールが全国的に頻繁に送られるようになり、地域の安全は待ったなしであると、一斉パトロールなどの活動を再開しました。今後も、地域の安全のために、楽しく長く活動していきます。